

安全データシート (SDS)

1. 物質または混合物及び会社情報

製品名 : DB 1U14HN

製品の名称 : ウレタン樹脂系二液反応形接着剤
会社名 : ダイアボンド工業株式会社
住所 : 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 4085
担当部門 : 品質管理課
電話番号 : 046-285-0985
Fax 番号 : 046-286-4292
メールアドレス : dbtec@dbbond.co.jp
緊急連絡先 : 046-285-0985 (担当部門に同じ)
推奨用途及び使用上の制限 : 接着用途に限る

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 特になし
GHS 分類
物理化学的危険性 : 分類対象外
健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 分類できない
急性毒性 (経皮) : 分類できない
急性毒性 (吸入) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない
環境に対する有害性
水生環境有害性 (短期間) : 分類できない
水生環境有害性 (長期間) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 重篤な眼の損傷

注意書き [安全対策]

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置]

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

[保管]

特記事項なし

[廃棄]

特記事項なし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：ウレタン樹脂系二液反応形接着剤

主成分：ポリオール・無機充填剤

成分及び含有量

化学名又は一般名	CAS No.	PRTR 法				労働安全衛生法		含有率 (%)
		特定一種	一種	二種	非該当	該当	非該当	
ポリオール	社外秘				○		○	50～60
無機充填剤	社外秘				○		○	40～50
合計								100%

4.応急処置

吸入した場合：患者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴等は速やかに脱ぎ捨てる。触れた部位は多量の水と石鹼で洗い流す。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た場合は、速やかに医師の診断を受ける。

眼に入った場合：流水で最低 15 分間洗眼した後、眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合：多量の水又は牛乳を飲ませて吐き出させ、口の中をよく洗い直ちに医師の診断を受ける。

5.火災時の措置

消火剤：粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂

使ってはならない消火剤：情報なし

特定の消火方法：付近の着火源を絶ち、保護具を着用して風上から消火する。

消火を行なう者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、呼吸保護具、保護眼鏡等の保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項：適切な保護具を着用した作業員以外は退避させ、漏れた場所の換気をよくする。漏出物は直接皮膚に触れないようにする。

除去方法：少量の場合は、乾燥砂、おがくず等に吸収させ、蓋付きの容器等に回収する。

多量に漏出した場合は、土砂等で流出防止し、出来るだけ液体を容器に回収する。回収容器は密閉してはならない。回収後の床は中和、除害し、十分水洗いする。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処理をする。

7.取扱い及び保管上の注意

(消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等の関係法規に準拠して作業する。)

取扱い：取扱いの際は、付近に着火源の無いことを確認する。

容器には破損のないことを確認し、転倒、落下に注意する。

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。

加温して使用する場合は、適切な換気状態で取り扱う。

イソシアネートと反応する水等の物質との接触には十分注意する。

取扱いは、地下浸透や汚染を防止するためシートなどを敷いた場所で行う。

保管：直射日光を避け、容器を密閉し 5℃～35℃で保管する。

容器を開放した後は、乾燥窒素で置換し密閉保管する。

雨水の混入、浸水の恐れのない場所に保管する。

保管場所は火気厳禁とする。

8.暴露防止及び人に対する保護措置

設備対策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置の設置を行う。

取扱場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。

保護具

呼吸保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。

保護眼鏡：保護眼鏡を着用する。

保護手袋：ゴム製等の不浸透性保護手袋を着用する。

保護衣：長袖作業衣を着用する。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：ペースト状 (20℃中)

色：白色

臭い：ほとんど無し (20℃中)

pH：測定できない

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点：データなし

引火点：200℃

発火点：データなし

爆発特性

爆発限界：上限：データなし 下限：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

溶解性

溶媒に対する溶解性：キシレン・トルエンで希釈される。水に不溶。

比重：データなし

10.安定性及び反応性

安定性：常温で安定である。

危険有害反応可能性：常温で安定である。

避けるべき条件：データなし

混触危険物質：イソシアネート類

危険有害な分解生成物：燃焼あるいは高温により一酸化炭素、窒素酸化物などの有害ガスを発生する。

11.有害性情報

データなし

12.環境影響情報

生体毒性	：混合物としての知見無し
残留性・分解性	：混合物としての知見無し
生体蓄積性	：混合物としての知見無し
土壌中の移動性	：混合物としての知見無し

13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄物処理に関する法律分類では、引火性廃油と廃プラスチック類の混合物である。
産業廃棄物として許可の受けた専門業者に委託する。
焼却時に有害ガスの発生を伴うので、焼却設備には排ガス処理設備が必要である。
- 汚染容器・包装 : 産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。
- その他、廃棄物の処理及び清掃に関する法規制の定めるところに従う。

14.輸送上の注意

容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。火気厳禁。その他、消防法、船舶安全法等の法令の定めるところに従う。

国連番号	：該当なし
国連品名	：該当なし
輸送における危険物有害性クラス	：該当なし
容器等級	：該当なし
緊急時応急処置指針番号	：該当なし

15.適用法令（化学製品に特に適用される法規制）

- 労働安全衛生法 : 引火性のもの・通知対象化学物質 該当しない
- 有機溶剤中毒予防規則 : 該当しない
- PRTR 法 : 該当しない
- 消防法 : 該当しない
- 船舶安全法 : 該当しない
- その他、地域の法規制の定めるところに従う。

16.その他の情報

- 参考資料 : 国際化学物質安全性カード (ICSC)
有機溶剤作業主任者テキスト
安全データシート作成指針 (日本化学工業協会)
接着剤の安全データシート作成手引き (日本接着剤工業会)
溶剤ポケットブック (オーム社)
JIS Z 7250 (日本規格協会)
原材料メーカーの安全データシート

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の実用を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

